

消防千葉

2025 No.607 令和7年1月号

目 次

年頭のごあいさつ（千葉県知事・千葉県消防協会長）	2・3
年始のごあいさつ（消防協会役員・評議員・顧問・消防団長等）	4・5
令和6年度消防功労者等の決定	6
第45回九都県市合同防災訓練	7・8
第60回消防殉職者慰霊祭	9・10
令和6年度消防団員指導員研修	11
消防学校1日入団・入校体験会	12
東西南北	13
日々の動き	14

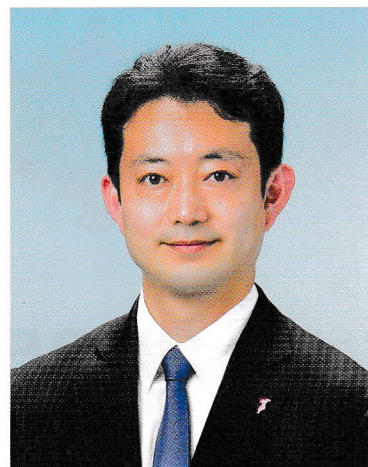


習志野市制施行 70 周年記念 習志野花火大会 2024 千葉支部

年頭のごあいさつ



謹んで新年の御挨拶を
申し上げます。



県内 32,000 有余名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、日夜、火災・地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

昨年は、元日に発生した能登半島地震など、地震や豪雨などにより全国各地で大きな被害が発生しました。また、8月には、宮崎県で震度6弱を観測した地震により「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されるなど、近年は災害の頻発化・激甚化が著しくなっています。

首都直下地震の発生なども危惧される中、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

本県は、半島という地理的特性を有していることから、能登半島地震を教訓として、孤立集落対策や避難所の運営体制の確保などに取り組んでいます。また、デジタル技術を活用した被災者支援の推進や、消防をはじめとする関係機関との連携強化など、防災県・千葉の確立に向け、地域防災力の一層の向上に努めているところです。

また、地域防災力の中核を担う消防団の活性化は非常に重要であり、県では、消防団の魅力発信や入団促進に向けた様々な取組を、引き続き実施してまいります。

関係者の皆様方におかれましては、大規模化・多様化する災害に備え、地域住民の安全、安心確保のために、引き続き御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、年頭の挨拶といたします。

令和7年元旦

千葉県知事 熊谷 俊人

年頭のごあいさつ



令和7年の新春を迎え
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係者の皆様には、日頃から地域の安全・安心を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けていただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、平素から当協会の運営や活動に対して格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、千葉県と当協会では、県消防操法大会を見直し、全国大会の代表選考会として隔年開催としたところです。この措置が消防団員の負担の軽減につながり、消防団の活性化の一助となれば幸いです。

さて、自治体消防は、関係各位のご努力により着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、住民から大きな期待と信頼が寄せられております。

こうした中で、昨年は元旦に能登半島で震度7の地震が発生し、今後、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模地震の発生が危惧されているほか、能登半島では記録的な豪雨により甚大な被害が生じるなど、地球温暖化の影響等により全国各地で想定を超える自然災害が多発しています。

当協会といたしましても、快適で安全・安心な郷土づくりのために、各地の消防団が常備消防と協力して消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、さらに努力してまいります。

新しい年を迎え、気持ちも新たに千葉県消防発展のため、防火防災思想の普及啓発、消防職・団員の福利厚生促進をはじめ、消防団員の確保と消防団の活性化にも全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、千葉県消防のますますのご発展並びに皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

令和7年元旦

公益財団法人 千葉県消防協会会長
千葉県少年女性防火委員会会長

石橋 毅

明けましておめでとうございます

香 取 支 部

香取広域市町村圏事務組合

香取市消防団長

天野敏秀

神崎町消防団長

椿真寿男

香取広域市町村圏事務組合

多古町消防団長

工藤和明

香取広域市町村圏事務組合

東庄町消防団長

高橋浩一

海 匝 支 部

銚子市消防団長

芝岸 弘

匝瑳市消防団長

大関昌宏

旭市消防団長

加瀬一雄

山 武 支 部

東金市消防団長

橋本吉保

山武市消防団長

高田 淳

大網白里市消防団長

小倉光夫

九十九里町消防団長

齊藤晃久

芝山町消防団長

松本重之

横芝光町消防団長

川島光男

長 生 支 部

長生郡市広域市町村圏組合

消防団長

関野富男

夷 隅 支 部

勝浦市消防団長

黒川民雄

いすみ市消防団長

露崎信夫

大多喜町消防団長

須金昭夫

御宿町消防団長

石井博之

安 房 支 部

館山市消防団長

吉野隆志

鴨川市消防団長

海老谷厚

南房総市消防団長

新井英明

鋸南町消防団長

大胡昌広

君 津 支 部

木更津市消防団長

細野 暢

君津市消防団長

平野宏行

富津市消防団長

澤田正弘

袖ヶ浦市消防団長

阿津好幸

千 葉 県

防災危機管理部長

添谷 進

地域防災担当部長

青柳 徹

防災危機管理部次長

能條靖雄

消防課長

高岡恭子

消防学校長

横田裕之

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

一般社団法人

千葉県消防設備協会

鬼怒川ゴム工業株式会社

日本曹達株式会社 千葉工場

株式会社 MORESCO

丸善石油化学株式会社 千葉工場

AGC 株式会社 千葉工場

コスモ石油株式会社

住友化学株式会社

千葉工場環境安全部

大阪国際石油精製株式会社

三井化学株式会社 市原工場

株式会社レゾナック

五井事業所

デンカ株式会社 千葉工場

日本中央競馬会 中山競馬場
流山キックマン株式会社

成田国際空港株式会社

成田山新勝寺

日華化学株式会社 関東工場

三井化学株式会社

茂原分工場安全環境グループ

双葉電子工業株式会社

広栄化学株式会社 千葉工場

富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所

NAA セーフティサポート株式会社

(順不同)



います 令和7年元旦

公益財団法人千葉県消防協会

千葉県消防協会評議員

公益財団法人千葉県消防協会顧問会役員等

県下市町村消防団長

会長	石橋 毅
副会長 (消防長会長)	白井一広
同 (海匝支部長)	芝岸 弘
同 (安房支部長)	吉野隆志
同 (千葉支部長)	佐藤 薫
同 (東葛飾支部長)	鎌倉博光
理事	河上 茂
同 (印旛支部長)	根本貴博
同 (香取支部長)	工藤和明
同 (山武支部長)	橋本吉保
同 (長生支部長)	関野富男
同 (夷隅支部長)	露崎信夫
同 (君津支部長)	澤田正弘
同 (消防長会)	丸 彦衛
同 (消防長会)	田村和弘
同 (県消防課長)	高岡恭子
同 (県消防学校長)	横田裕之
専務理事	伊藤亮一
常務理事	小神野光俊
監 事 (東葛飾支部)	梅澤一雄
同 (印旛支部)	齋藤達弥
同 (消防長会)	高梨俊治
同 (公認会計士)	草薙信久

千葉支部	石井隆治
同	江口茂勇
東葛飾支部	市川敬章
同	飯田喜治
印旛支部	栗飯原阿良太
同	宮本 浩
香取支部	増田和久
同	高橋浩一
海匝支部	常世田昌也
同	大関昌宏
山武支部	内山真司
同	川島光男
長生支部	秋葉和彦
同	城竹貞治
夷隅支部	藤平欣也
同	黒川民雄
安房支部	須藤和英
同	海老谷厚
君津支部	石井和成
同	細野 暢

相談役	目良和夫
同	吉野正壽
会長	畔蒜晴夫
副会長	石井友治
同	廣田元一
同	鈴木俊一
同	増田久雄
同	小高利広
同	椎名孝次
同	斉藤弘一
同	布留川博保
監 事	高橋 諭



千葉支部	佐藤 薫
千葉市消防団長	飯田裕一
習志野市消防団長	横須賀隆行
市原市消防団長	江口茂勇
八千代市消防団長	
東葛飾支部	
市川市消防団長	岡本宜幸
船橋市消防団長	鎌倉博光
松戸市消防団長	小嶋 功
野田市消防団長	木名瀬訓光
柏市消防団長	鈴木 哲
流山市消防団長	梅澤一雄
我孫子市消防団長	鈴木 誠
鎌ヶ谷市消防団長	飯田喜治
浦安市消防団長	大川三敏
印旛支部	
成田市消防団長	藤崎和彦
佐倉市消防団長	齋藤達弥
四街道市消防団長	河田政実
八街市消防団長	福田昌広
印西市消防団長	宮本 浩
白井市消防団長	中村敦雄
富里市消防団長	大澤 弘
酒々井町消防団長	小池秀和
栄町消防団長	根本貴博

令和6年度 消防功労者等の決定

消防業務又は消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、公益財団法人日本消防協会と公益財団法人千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。令和6年度は、1,531人が受章されます。

1 公益財団法人日本消防協会長表彰 令和7年3月7日(金)

日本消防会館 ニッショーホール

2 公益財団法人千葉県消防協会長表彰 令和7年3月5日(水)

青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

令和6年12月16日現在

	千 葉	東葛飾	印 旛	香 取	海 匠	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	協 会	合 計
日本消防協会長	69	144	79	18	41	34	13	22	21	22		463
特 別 功 労 章												0
特別表彰まとい												0
表 彰 旗												0
竿 頭 綬												0
功 績 章 (一 般)	4	6	5	2	2	3	1	2	2	3		30
功 績 章 (女 性)		1										1
精 績 章 (一 般)	10	15	13	5	5	6	4	4	5	6		73
精 績 章 (女 性)		2										2
勤 続 章	55	120	61	11	34	25	8	16	14	13		357
優良女性消防隊												0
優良女性消防隊員												0
永年勤続職員表彰												0
千葉県消防協会長	186	280	122	58	88	97	67	52	50	68		1,068
出 初 式	62	94	74	33	31	40	22	28	32	39		455
功 労 章	15	23	19	8	8	10	5	7	7	10		112
精 勤 章	47	71	55	25	23	30	17	21	25	29		343
消 防 大 会	124	186	48	25	57	57	45	24	18	29		613
特 別 功 労 章	1	2	1	1		1	1	1	1	1		10
永年勤続功労章	62	105	24	11	29	28	23	12	7	15		316
功 績 章	4	6	5	2	2	3	2	2	2	3		31
表 彰 状	個 人	6										6
	団 体	1										1
感 謝 状	配偶者	47	73	18	11	26	25	19	9	8	10	246
	全国操法	3										3
合 計	255	424	201	76	129	131	80	74	71	90		1,531

第45回九都県市合同防災訓練(千葉県会場)

訓練は、大規模な地震災害を想定し、行政や各防災機関が連携した救出救助や、災害時の住民自身の行動など実践的な訓練を実施するほか、減災への備えや発災時の対応に関する啓発・体験の機会を設けることで、自助・共助・公助の繋がりを強化し、地域の防災力を向上することを目的としています。

ライフライン復旧訓練終了後には、熊谷千葉県知事から訓練講評が行われ、主催者（太田いすみ市長、千葉県消防協会長（代理・吉野副会長））挨拶に続き、来賓を代表して實川千葉県議会副議長、麻生いすみ市議会議長の挨拶がされました。



訓練概要

1 実施日時・会場

令和6年10月20日（日）10時～13時

(1) 大原中学校

- ・シェイクアウト訓練
- ・救出救助訓練
- ・応急救護訓練
- ・ライフライン復旧訓練
- ・避難所運営訓練
- ・災害ボランティアセンター運営訓練
- ・物資輸送訓練

(2) いすみ市役所

- ・防災フェア

2 主 催

千葉県、いすみ市、（公財）千葉県消防協会

3 訓練規模

参加機関（団体） 約100機関

参加人数 約3,000名

4 想定地震

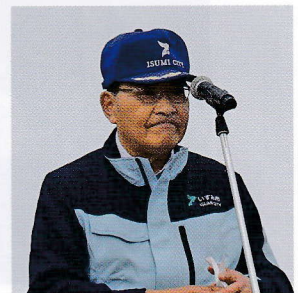
千葉県東方沖を震源とする地震が発生し、いすみ市では震度6強を観測し、この地震の影響により、津波警報が発表され、沿岸地域の住民は避難を余儀なくされた。その後、津波の襲来により、市内は多数の建物倒壊や道路損壊等の交通障害が発生し、自助・共助・公助による懸命な災害対応が行われようとしている。

5 今回の訓練の特徴

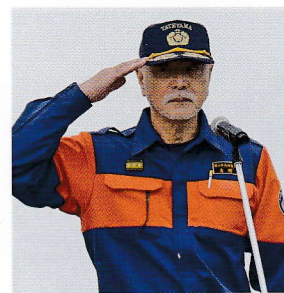
- (1) 自助、共助に主眼を置き、地域住民主体の訓練や、防災意識を高めるための普及啓発活動を実施する。
- (2) 防災関係機関と行政機関の連携を強化する訓練を実施する。
- (3) 地域特性を考慮し、津波避難や水難救助等の訓練を実施する。
- (4) 過去の災害の課題に対応した訓練を実施する。



熊谷千葉県知事



太田いすみ市長



吉野消防協会副会長



實川千葉県議会副議長

6 訓練の様子



シェイクアウト訓練



初期消火訓練



ドローンによる物資搬送訓練



医療救護訓練



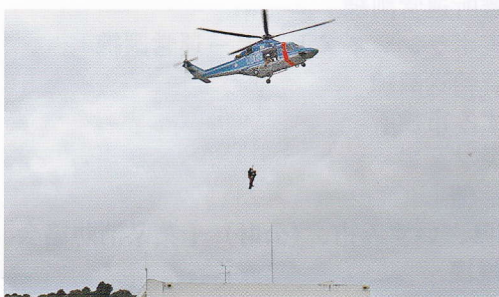
ボランティアセンター運営訓練



崖下からの車両救助



はしご車による救助



ヘリコプターによるホイスト救助



一斉放水



ライフライン復旧訓練

第60回 消防殉職者慰霊祭

令和6年11月6日（水）に「第60回消防殉職者慰霊祭」が、千葉県及び公益財団法人日本消防協会の後援のもと、千葉県消防学校屋内訓練場において、御遺族、来賓、消防関係者など約350名の参列をいただいて、午前10時から厳粛に執り行われました。



この慰霊祭は、郷土防災の使命を果たしてその職に殉じた御霊を慰め、併せて消防士気の高揚と防災思想の普及を図るため毎年実施しているものです。

合祀されている殉職者は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防（局）本部・消防団時代の50柱、そして消防協力者6柱、合わせて96柱となっています。

式典は吉野消防協会副会長の開式のことばで始まり、慰霊碑に拝礼の後、国歌斉唱が行われ、司会の案内により消防殉職者96柱の御霊に対し参列者全員が黙とうを捧げました。

その後、消防協会長（代理 芝岸副会長）から、「私達消防人一同は、御霊の御遺訓を受け継ぎ、心新たに団結を強め、地域防災に力を尽くし、安全で安心な社会を実現するため精進努力することを誓います。」と式辞を述べられました。

次に千葉県知事（代理 穴澤副知事）から、「皆様が身をもって示された崇高な志は、今もなお32,000の消防人に脈々と受け継がれるとともに、最愛の肉親を失われた御遺族の胸中にも大きな誇りとして生き続けていることと存じます。

県といたしましても、防災関係機関と一致団結し、決意を新たに防災対策の一層の充実に努めていくことを、皆様の前でお誓いいたします。」と追悼のことばが捧げられました。



消防協会長（代理 芝岸副会長）の式辞



穴澤副知事の追悼のことば

その後、實川千葉県議会副議長、太田千葉都市長会副会長（いすみ市長）、岩田千葉県町村会長（東庄町長）から追悼のことばが捧げられ、御来賓の紹介と日本消防協会秋本会長からの追悼のメッセージが披露されました。続いて御遺族、来賓、消防関係者、消防団長及び消防長の方々から、防殉職者慰霊碑に献花が行われました。



實川千葉県議会副議長の追悼のことば



太田千葉都市長会副会長の追悼のことば



岩田千葉県町村会長の追悼のことば



御遺族の献花

最後に、御遺族を代表して小宮輝一様から「故人の在りし日の消防活動に励む姿を忘れず、地域防災に身を捧げたことを大きな誇りにして、これからも、日々、力強く生きていく所存でございます。」とのお礼のことばと、芝岸消防協会長代理からのお礼のことばが述べられ、佐藤消防協会副会長の閉式のことばにより、消防殉職者慰霊祭は終了しました。



お礼のことば（小宮輝一様）



令和6年度 消防団員指導員研修

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月23日から24日の2日間の日程で千葉県消防学校において開催されました。



研修には27所属、43名が参加し、23日9時から入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼の後、石橋消防協会長の式辞、横田消防学校長及び吉野消防協会副会長（館山市消防団長）の挨拶がありました。

その後、幹部の心得、住民指導などの講義を受け、午後からは屋外訓練場において「訓練礼式」及び「火災防ぎょ・水災活動」の実地訓練を行いました。



石橋消防協会長

翌日は、8時30分の朝礼に続き、「訓練礼式」、「火災防ぎょ、災害情報収集・伝達」及び「救命活動・救助活動」の訓練を行い、午後3時30分からの修了式では、全員に日本消防協会修了証書が授与され、全課程を修了しました。



訓練礼式



火災防ぎょ



災害情報収集・伝達



救助活動訓練



救命活動訓練



修了証書授与

消防学校 1日入団・入校体験会

県消防課は、令和6年11月2日（土）、千葉県消防学校において、1日入団・入校体験会を開催しました。この体験会は、近年消防団員数の減少が大きな課題となるなか、地域防災の将来の担い手である若者の消防・防災意識の向上と消防活動に対する理解促進を図るため、県内在住又は在学の大学生、専門学校生、高校生を対象に開催され、将来的な消防団員・職員の確保に繋げようとするものであり、県内各地から79名（内、高校生15名・女性13名）が参加しました。

当日は、横田消防学校長の挨拶のあと、消防学校の概要説明、10時からはグループに分かれ規律訓練、救急訓練、放水訓練・AFT訓練が行われました。

午後からは、ロープ結索・渡過訓練、VR訓練、呼吸器取扱・濃煙体験訓練、消防・救急自動車体験乗車と多くのメニューが用意され、更に、消防学校教官との座談会では、消防職員の心構えや消防活動に関する様々な質問がされ、活発な意見交換がされていました。最後に、帝京平成大学と千葉科学大学の学生消防（隊）団の皆さんから活動紹介が行われ、体験会は終了となりました。



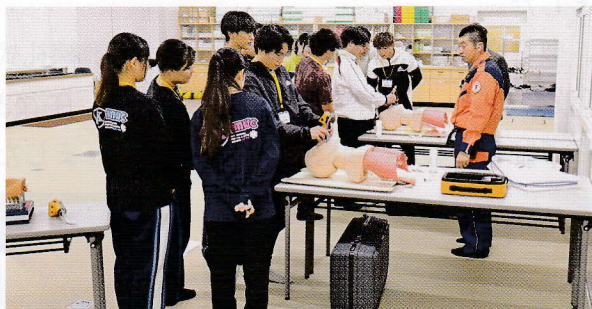
横田消防学校長



規律訓練



放水訓練



救急訓練



ロープ渡過訓練



教官との座談会

東 西 南 北

**東 西
南 北**

令和6年度火災原因調査研修会を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、令和6年6月14日（金）、消防本部において県内消防本部を含む92名の火災原因調査に携わる職員を対象に、「令和6年度火災原因調査研修会」を開催しました。

本研修会の講師として、消防大学校消防研究センター火災災害調査部原因調査室尾川義雄室長をお招きし、「現場見分に係る調査要領」をテーマに講師の豊富な経験談や社会的影響の大きい火災事例を交え、火災現場での情報収集、発掘要領、写真撮影要領等における注意事項や着眼点、X線透過装置、デジタルマイクロスコープ等の機器を活用した鑑識による見分結果及びガスクロマトグラフ質量分析計等の分析機器による鑑定結果により、客観的事実に基づく火災調査を実施することの重要性を学んだ研修会となりました。

昨今の複雑多様化する火災への調査業務をより良いものとするため、今後も職員に対する教育研修を実施し人材育成に努めて参ります。



研修会の状況

**東 西
南 北**

救急救命士の再教育に係る集合研修を実施

市原市消防局

市原市消防局では、救急業務に必要な知識・技術の向上を図り、常に質の高い救急医療を市民に提供できる救急救命士の再教育の一環として、令和6年6月11日（火）、12日（水）の2日間にわたり研修を実施しました。

今回の研修は、ブラインド型の総合シミュレーションを実施し、動画フィードバックの手法を取り入れ、指導救命士によるポイント解説を行いました。

また、指導医からも活動全体の振り返りと医学的見地からの助言をいただき、様々な救急現場で対応できる救急救命士の育成を図りました。

**東 西
南 北**

消火栓の取扱い及び中継送水訓練の実施

市原市消防団

市原市消防団加茂支団は、市原市の山間部に位置し、地域の特性から狭隘道路も多く、また、広大な管轄のため、常備消防の到着にも時間がかかることから、地元消防団が早期に災害対応できるよう、加茂支団全分団を対象に消火栓の取扱い及び中継送水訓練を実施しました。

はじめに、市原市南総消防署署長からの講義を受講し、その後実技を実施しました。消火栓の取扱いは、開け方から点検方法。そして、中継訓練は防火水槽から吸水し3台の可搬ポンプを中継し放水しました。

これからも、自分たちの地域の災害に早期に対応できるよう、訓練を継続して実施していきます。





『交通事故発生!』交通救助事案対応研修を実施!

柏市消防局

柏市消防局の特別救助隊員は、交通救助事案対応研修として、リバー株式会社ELV柏事業所の全面協力のもと、訓練用の車両を提供して頂き、交通救助事案対応研修を実施しました。近年、車両の構造が複雑化しているため、交通救助には高度な技術や経験が必要となってきています。しかし交通救助件数は車両製造技術の向上により減少傾向にあり、現場経験が少ない若年層の救助隊員が増加しているのが現状です。そのため、現場経験の少ない救助隊員にとって、有意義な研修となりました。



日々の動き

防災危機管理部 / 消防協会 共同編集

令和 7年 1月

5日～2月9日 令和7年出初式

6日 仕事はじめ



2024年度 全国統一防火標語
「守りたい 未来があるから 火の用心」

< 表紙の説明 >

習志野市制施行 70 周年記念 習志野花火大会 2024 千葉支部

令和6年11月23日（土）、24日（日）の二日間、習志野市制施行70周年を記念して、習志野市茜浜の茜浜緑地にて民間事業者が運営主体となり、本市は特別後援として習志野花火大会2024が開催されました。

両日とも約10,000発の花火が打ち上げられ、キッチンカーや露店等も出店するなど70周年記念にふさわしい盛り上がりとなりました。

本市消防団も火災や急病人等の事案が発生した場合に備え、消防本部と協力し警戒活動にあたりました。

今後も市民の「安全・安心」を守るため、日々活動していきたいと思っています。

